

19 避難の呼びかけ体制の構築

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
			<input checked="" type="checkbox"/> 呼びかけ
自治体	広島県		

問合せ先：広島県 消防保安課

取組概要

- 市町と連携し、自主防災組織による**避難の呼びかけ体制を構築する**取組を展開。
- 複数の**モデル組織で、各地域の実情に沿った効果的な避難の呼びかけ体制**を構築し、ここで得られたノウハウを盛り込む形で、「**避難の呼びかけ体制づくりマニュアル**」を整備。
- 加えて、**訓練等を通じた呼びかけ体制の実践**や、訓練等で明らかとなった**課題を改善に繋げることで**、呼びかけ体制の更なる強化を図っている。

取組のきっかけ

- 平成30年7月豪雨では記録的な豪雨に見舞われたが、多くの住民が危険と感じながらも避難行動をとらなかった。一方で、**他者の動向や近所の方からの呼びかけが、避難行動を促進**することが判明。
- 上記を踏まえ、自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりを進めることとした。

取組のポイント

<モデル組織における呼びかけ体制の構築>

- モデル組織として、**地域の特徴や規模の異なる複数団体**を選定。
- **県、市町、県の自主防災アドバイザーの連携**により、モデル組織における避難の呼びかけ体制を構築。
- その際、**各組織の特徴を踏まえた独自の取組の導入**や、取組の過程で明らかになった**課題を解決しながら実施**。

<避難の呼びかけ体制づくりマニュアルの作成>

- モデル事業で得られた知見を基に、マニュアルを整備して展開。
- 体制づくりのステップは以下のとおり。

- ① **地域住民の防災に対する理解**を深めていくこと（セミナー）
- ② 地域の**災害リスクなど、地域性を把握**してもらうこと（DIG）
- ③ 体制づくりにあたり、**避難を呼びかけるタイミング、呼びかけの方法、呼びかける順番**などを**地域で話し合う**こと（WS）
- ④ 呼びかけ体制が機能するか、**実践確認**を行うこと（訓練）
- ⑤ こうした実践を基に**課題を抽出し、体制の改善**を図ること（訓練の振り返り）

<呼びかけ体制の構築及び維持・充実>

- 関係機関と連携し、マニュアルを活用しながら、**県内組織の避難の呼びかけ体制の構築**を支援。
- 体制構築済組織には、**継続的な情報伝達・避難訓練等**を促し、体制の維持・充実を支援。

▼自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりマニュアル



▼マニュアルを活用したワークショップの様子



取組の効果

- 市町からの避難情報発令の際に、体制構築した組織において**避難の呼びかけと早期避難**を実践した（令和4年台風第14号）。